

## 令和7年度第1回公立大学法人公立鳥取環境大学評価委員会 次第

日時 令和7年5月22日(木)

午前9時30分から11時30分まで

場所 公立鳥取環境大学大会議室(大学本部・講義棟3階)

### 1 開会

### 2 学生との意見交換

- ・環境学部 穂近 ほのかさん(4年)、永田 惇人さん(3年)
- ・経営学部 田中 詩乃さん(2年)、金 大克さん(2年)

### 3 教員との意見交換

- ・環境学部 准教授 角野 貴信
- ・経営学部 准教授 倉持 裕彌

### 4 学長あいさつ・大学の近況報告、意見交換

### 5 その他

資料1 令和7年度第1回公立大学法人公立鳥取環境大学評価委員会の進行等について

資料2 公立鳥取環境大学の近況

令和7年度第1回公立大学法人公立鳥取環境大学評価委員会 出席者名簿

学生との意見交換 9:40～10:20  
 教員との意見交換 10:20～10:50  
 幹部との意見交換 10:55～11:25  
 その他 11:25～11:30

区 分	役 職 等	氏 名	学生との意見交換 9:40～10:20	教員との意見交換 10:20～10:50	幹部との意見交換 10:55～11:25	その他 11:25～11:30	
公立大学法人公立鳥取環境大学 評価委員会	委 員	中山 貴雄	○	○	○	○	
	委 員	千田 亮吉	○(Web)	○(Web)	○(Web)	○(Web)	
	委 員	松本 啓介	○	○	○	○	
	委 員	中井 英子	○	○	○	○	
	委 員	上田 理恵子	欠	欠	欠	欠	
公立大学法人公立鳥取環境大学	理事長兼学長	小林 朋道			○		
	副理事長	寺口 嘉昭			○		
	理事兼副学長	中山 実郎			○		
	理事兼事務局長	田中 洋介			○		
	副学長	根本 昌彦			○		
	環境学部長	張 漢賢			○		
	経営学部長	吉田 高文			○		
	人間形成教育センター長	今井 正和			○		
	環境学部准教授	角野 貴信		○			
	経営学部准教授	倉持 裕彌		○			
	環境学部4年	穂近 ほのか	欠				
	環境学部3年	永田 惇人	○				
	経営学部2年	田中 詩乃	○				
経営学部2年	金 大克	○					
新生公立鳥取環境大学運営協議会 事務局	鳥取県総務部	教育学術課長 (事務局長)	池本 丞二	○	○	○	○
		教育学術課参事	佐々木真人	○	○	○	○
	鳥取市企画推進部	政策企画課長	上田 貴洋	○	○	○	○
		政策企画課主任	金森のぞみ	○	○	○	○

■令和7年度の評価スケジュールについて

- ▶今年度は、大学の令和6年度業務実績や志願者確保に向けた魅力づくりの取組について意見交換を行います。  
※地方独立行政法人法により義務付けられていた毎年度の事業計画作成・業務実績評価は廃止されましたが、大学のPDCAサイクルを機能させ、県民への説明責任を果たしていくため、意見交換を行うものです。

5月22日 第1回評価委員会(意見交換等)

7月17日 第2回評価委員会(大学から業務実績の説明、意見交換)

秋ごろ 第3回評価委員会(大学から魅力づくりの取組案を説明、意見交換)

■第1回委員会の時間割等

日時 令和7年5月22日(木)午前9時30分から午前11時30分まで

場所 公立鳥取環境大学 大会議室

(時間割)

時刻	時間	内容	参加者
9:30 ~ 9:40	10分	1 開会 (事務局説明)	委員、事務局
9:40 ~ 10:20	40分	2 学生との意見交換 (委員自己紹介、学生自己紹介、質疑)	委員、事務局、学生4名(各学部2名)
10:20 ~ 10:50	30分	3 教員との意見交換 (委員自己紹介、教員自己紹介、質疑)	委員、事務局、教員2名(各学部1名)
10:50 ~ 10:55	5分	<休憩・入替>	
10:55 ~ 11:25	30分	4 大学幹部との意見交換 (学長挨拶、大学の近況報告、意見交換)	委員、事務局、大学幹部(学長他)
11:25 ~ 11:30	5分	5 その他 (事務局説明)	委員、事務局

■「2 学生との意見交換」について

学生4名は同時に入室します。

- ▶委員自己紹介、学生自己紹介、学生への質問、の順で進行を進めます。
- ▶同席する大学スタッフは学務課長のみとし、学生が遠慮なく話をしていただけるよう配慮します。  
(※後ほど、大学側に、意見の内容を伝える際は、なるべく個人が特定されないよう配慮を行って下さい。)
- ▶学生への質問について、事務局でテーマ設定等は特段行いません。以下は、過去に委員から出された質問ですので参考にして下さい。  
(令和4年度)環境大学を選んだ理由、鳥取又は大学に来て感じたこと、大学への希望、大学で取り組みたい事、大学の魅力、鳥取で就職する意思の有無、就職に活かせたと感じる大学での学び  
(令和5年度)環境大学を選んだ理由、入学後の感想(ギャップ含め)、教員との関わりの深さ、資格取得の学習、大学への希望、鳥取で就職する意思の有無  
(令和6年度)環境大学を選んだ理由、入学後の感想(ギャップ含め)、学生同士のふれあい、県内就職を目指す学生、県外での就職活動、大学から提供されるサービス、大学への希望等

■「3 教員との意見交換」について

- ▶委員自己紹介、教員自己紹介、教員への質問、の順で進行を進めます。
- ▶遠慮なく話していただけるよう、他の大学スタッフの同席は行いません。
- ▶教員への質問について、事務局でテーマ設定等は特段行いません。以下は、過去に委員から出された質問ですので参考にして下さい。  
(令和4年度)オンライン授業で困った点や学生の変化、両学部合同で実施するフィールドワーク等の活動の有無や課題、学生への思いや提案、研究を進めるうえで必要な環境整備等  
(令和5年度)学生の特徴、両学部合同でのフィールドワーク等の有無や課題、授業を進めるうえでの工夫、大学でのchatGPTの使い方、研究を進めるうえで必要な環境整備等  
(令和6年度)学生の特徴、学生の教育の仕方、ボランティア活動などの学生と社会との関り、教職課程等

■「4 学長あいさつ・大学の近況報告、意見交換」について

- ▶大学からの近況報告の後、意見交換をお願いします。

# 公立鳥取環境大学の近況

令和 7 年 5 月

公立大学法人公立鳥取環境大学

# 小林学長による教職員全体会（令和7年4月2日開催）での

## 活動方針表明

### ○安定的な志願者確保に向けての取組の強化

= 学生の成長、成長実感を一義とした実施 =

### 主な実施事項（「人と社会と自然との共生に貢献できる人材の育成」を踏まえて）

#### 教育改革（教育課程の点検・見直しの実施、学部・学科の再編検討など）

- ・ 今できるところから教育改革（カリキュラム、教育方法、学修成果の可視化など）を進める
- ・ 引き続き将来を見据えた抜本的な志願者確保対策を検討・実施していく

#### 大学の魅力づくり（独自の取組の創出・進展：環境、経営、環境&経営の共創（生物多様性の保全のビジネス化など）

①脱炭素を含めた独自性・活力を有する地域発展への貢献  
若者に魅力のある地域の創出

②生物多様性の維持・向上への貢献  
鳥取県内外の陸域・水域の、生態系の保全、経済的資源としての適切な利用

③持続可能で競争力のある経営活動への貢献  
地域を中心にした企業経営、金融知識、AI、データサイエンス、DXに優れたビジネスの構築

◎学生の成長（考え自主的に行動する力、協働する力=これからの社会の中で、生き甲斐を感じて暮らせる能力）

（学生も参加した）県内の魅力の発見・拡大による先進的ビジネスの考案・創出（若者が魅力を感じる要素を含む）

・受験生にとっての本学の魅力化  
・鳥取の活性化（鳥取へのIJUターンによる定着も含めて）

#### 教職員の意識改革・行動改革（理念の達成、学生の成長 持続的な大学経営のために協働する多様な教職員）

- ・ 教職員共通の価値判断基準：「理念」、「学生の成長」
- ・ 持続的な大学経営とより良い環境の実現：「危機意識と達成可能意識」、「成長」、「教職協働」

# 1 公立鳥取環境大学の在籍者数

令和7年5月1日現在

## 〔学部〕

休学者は内数 単位:人

学部名	入学定員	令和7年度生(2025)			令和6年度生(2024)			令和5年度生(2023)			令和4年度生(2022)			令和3年度以前		合計	
		入学	休学	在籍	入学	休学	在籍	入学	休学	在籍	入学	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍
環境学部	150	163		163	159	(1)	158	161	(1)	158	158	(4)	154	(4)	30	(10)	663
経営学部	150	165		165	166	(1)	160	159	(2)	155	168	(1)	156	(2)	26	(6)	662
総計	300	328		328	325	(2)	318	320	(3)	313	326	(5)	310	(6)	56	(16)	1,325

### うち留学生(私費外国人留学生入試・県費留学生)

環境学部	若干	5		5	5	0	5	2	0	2	4	0	4	0	4	0	20
経営学部	若干	4		4	4	0	3	2	0	2	2	0	2	0	0	0	11
総計		9		9	9	0	8	4	0	4	6	0	6	0	4	0	31

\*留学生の内訳(在籍者)

中国5  
ミャンマー1  
ベトナム1  
韓国1  
モンゴル1

中国7  
ミャンマー1

中国2  
台湾1  
ベトナム1

中国3  
台湾2  
マレーシア1

中国2  
韓国1  
ネパール1

## 〔大学院〕

休学者は内数 単位:人

領域名	入学定員	令和7年度生(2025)			令和6年度生(2024)			令和5年度以前		合計	
		入学	休学	在籍	入学	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍
環境学専攻	10	5		5	3	0	3	0	1	0	9
経営学専攻	5	3		3	0	0	0	0	0	0	3
総計	15	8		8	3	0	3	0	1	0	12

うち留学生

中国4  
(環境学専攻1  
経営学専攻3)

中国1  
(環境学専攻)

## 2 令和7年度入試 実施状況

- ・令和7年4月の県内入学者の割合は21.6%（環境学部:16.0%、経営学部:27.3%）となり、令和6年度の21.2%と同水準でした。
- ・全国的な少子化や都会の私立大学を志望する学生が増えてきている状況の中、今後、さらに本学への進学につながるように県内の高等学校との連携を深め、また、教育委員会とも連携した取組を進めます。
- ・学長による、県内の高等学校長交代校9校（東部：2校 中部：3校 西部：4校）への訪問を4～5月に予定しており、より一層の関係構築に取り組み、県内志願者の増加に取り組みます。また、高等学校長協会会長への訪問も計画し、高等学校長協会との連携も強めていきます。
- ・令和7年度のオープンキャンパスは、来場型：8月2日（土）、3日（日）  
Web型：4日（月）の2種類計3日での開催を計画しています。

### （学部1年次）

学部	環境学部		経営学部			合計	
募集人員	150		150			300	
志願者数	461	うち県内 60	829	うち県内 188	1,290	うち県内 248	
合格者数	192	うち県内 28	227	うち県内 49	419	うち県内 77	
入学者数	163	うち県内 26	165	うち県内 45	328	うち県内 71	

### （3年次編入学）

学部	環境学部	経営学部	合計
募集人員	若干名	若干名	若干名
志願者数	2	8	10
合格者数	1	2	3
入学者数	1	2	3

### （大学院）

専攻	環境学	経営学	合計
募集人員	10	5	15
志願者数	5	3	8
合格者数	5	3	8
入学者数	5	3	8

（注）入学者には外国人留学生4名を含む。（環境学専攻:1名 経営学専攻:3名）

## 近年の鳥取県内入学者等の状況

入試年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
内訳		全体	県内	割合	全体	県内	割合	全体	県内	割合	全体	県内	割合	全体	県内	割合
環境学部	志願者	556	62	11.2%	498	79	15.9%	604	114	18.9%	398	57	14.3%	461	60	13.0%
	合格者	185	26	14.1%	189	32	16.9%	184	38	20.7%	189	26	13.8%	192	28	14.6%
	入学者	159	26	16.4%	158	31	19.6%	161	37	23.0%	159	26	16.4%	163	26	16.0%
経営学部	志願者	788	139	17.6%	765	147	19.2%	692	128	18.5%	480	127	26.5%	829	188	22.7%
	合格者	254	45	17.7%	260	49	18.8%	236	39	16.5%	232	47	20.3%	227	49	21.6%
	入学者	156	41	26.3%	165	42	25.5%	159	38	23.9%	166	43	25.9%	165	45	27.3%
両学部合計	志願者	1,344	201	15.0%	1,263	226	17.9%	1,296	242	18.7%	878	184	21.0%	1,290	248	19.2%
	合格者	439	71	16.2%	449	81	18.0%	420	77	18.3%	421	73	17.3%	419	77	18.4%
	入学者	315	67	21.3%	323	73	22.6%	320	75	23.4%	325	69	21.2%	328	71	21.6%

令和7年度都道府県別集計

【全入試区分】※編入学除く

都道府県	志願者			合格者			入学者		
	環境 人	経営 人	計 人	環境 人	経営 人	計 人	環境 人	経営 人	計 人
北海道	11	4	15	5		5	4		4
青森県									
岩手県									
宮城県		1	1						
秋田県									
山形県									
福島県	1		1						
茨城県	2	5	7	1	1	2	1	1	2
栃木県		4	4		2	2		1	1
群馬県	4	1	5	2	1	3	1	1	2
埼玉県	2	5	7	2	4	6	1	1	2
千葉県	3	1	4						
東京都	5	1	6	3		3	3		3
神奈川県	2	1	3	2		2	2		2
新潟県	1	2	3	1	1	2	1	1	2
富山県	4	10	14	2	5	7	2	4	6
石川県	4	7	11	1	2	3	1	2	3
福井県	3	9	12	3	3	6	3	3	6
山梨県	1	3	4	1	1	2			
長野県	2	8	10		3	3		2	2
岐阜県	10	17	27	4	5	9	4	5	9
静岡県	15	23	38	10	5	15	8	3	11
愛知県	26	35	61	8	14	22	5	4	9
三重県	7	19	26	2	8	10	2	4	6
滋賀県	3	4	7						
京都府	18	18	36	7	8	15	6	5	11
大阪府	28	22	50	13	7	20	6	3	9
兵庫県	53	93	146	19	28	47	18	20	38
奈良県	2	1	3						
和歌山県	7	23	30	5	8	13	4	6	10
鳥取県	60	188	248	28	49	77	26	45	71
島根県	20	45	65	7	12	19	5	12	17
岡山県	32	89	121	15	20	35	15	12	27
広島県	25	49	74	7	8	15	7	4	11
山口県	6	8	14	2	1	3	1	1	2
徳島県	5	11	16	1	1	2	1	1	2
香川県	12	12	24	4	4	8	4	4	8
愛媛県	6	20	26	1	7	8	1	5	6
高知県		3	3						
福岡県	16	15	31	9	1	10	9		9
佐賀県	3	5	8	2		2	2		2
長崎県	8	18	26	4	4	8	3	4	7
熊本県	5	5	10	4	2	6	3	2	5
大分県	5	7	12	2	2	4	2	1	3
宮崎県	3	6	9	1	2	3	1	1	2
鹿児島県	6	5	11	3	3	6	3	3	6
沖縄県	3	2	5	1		1	1		1
その他	32	24	56	10	5	15	7	4	11
計	461	829	1,290	192	227	419	163	165	328

注1:都道府県は出身高校(高等専門学校を含む)の所在地による。

注2:「その他」は高卒認定、専修学校の高等課程、留学生等、高校を卒業していない者。

### 3 令和6年度就職活動状況報告書(2025年3月卒業・修了)

#### 1. 学部別状況

2025/3/31時点

	全学			環境学部			経営学部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
① 卒業見込者	164	111	275	84	58	142	80	53	133
② 就職希望者	148	100	248	72	50	122	76	50	126
③ 内定者数	145	100	245	71	50	121	74	50	124
④ うち県内企業内定者数	23	26	49	9	10	19	14	16	30
⑤ 就職(内定)率 ③/②	98.0%	100.0%	98.8%	98.6%	100.0%	99.2%	97.4%	100.0%	98.4%
⑥ 内定者に占める県内企業内定率	15.9%	26.0%	20.0%	12.7%	20.0%	15.7%	18.9%	32.0%	24.2%

#### 2. 就職(内定)先

※ 業種は総務省「日本標準産業分類」に準ずる。持ち株会社は金融業に該当するが、内定先業種での分類とする。

##### 【環境学部】

※ 学生が提出した進路決定届を集計するため実際の内定状況と乖離あり。青字は上場企業、下線は非正規雇用。

業種	鳥取県外企業	鳥取県内関連企業
A 農業、林業	サラダコスモ	
D 建設業	セキスイハイム中四国、住友林業ホームテック、石勝エクステリア、西原環境、日本防蝕工業、タイキ、伊東造園、住友林業緑化	ウッズカンパニー
E 製造業	三ツ星ベルト、石原ケミカル、ジヤトコ、岩谷瓦斯、中川製袋化工、由良ドック、加茂繊維、ボックス、田中衝機工業所、九十九島グループ、あわしま堂、ウィードプランニング、日清鋼業、金子産業、三和エンジニアリング	ひよこカンパニー
F 電気・ガス・熱供給・水道業	NTTアノードエナジー	
G 情報通信業	東日本電信電話、クレスコ・デジタルテクノロジーズ、日本ソフトウェア、イタミアート、紀陽情報システム、日本ビジネス開発、スーパーソフトウエア、パーソルビジネスプロセスデザイン	鳥取県情報センター、エクシードシステム
H 運輸業、郵便業	平成農産運輸	
I 卸売業、小売業	エディオオン、矢崎総業、テス・エンジニアリング、かわさき屋、ひごペットフレンドリー、ダイキンHVACソリューション中四国、オートボックス関西販売、コープこうべ、河村電器産業、大一ガス、中市大福堂ダンマルシェ、パンテック、UCCコーヒープロフェッショナル、西原商会、ポーネルド、辻森商会、リビングハウス、ホンダ泉州販売、レックス	ニトリ、イオンリテール、プリヂストンタイヤソリューションジャパン、ホンダ山陰中央
J 金融業、保険業	みなと銀行	鳥取銀行、鳥取信用金庫、米子信用金庫
K 不動産業、物品賃貸業	カチタス、太陽建機レンタル	
L 学術研究、専門・技術サービス	応用技術、水産研究・教育機構、エス・ビー・シー、東洋技研コンサルタント、服部エンジニア、静岡県産業環境センター、MHIパワーエンジニアリング、国際航業、アジア航測	シンワ技研コンサルタント
M 宿泊業、飲食サービス業	三井不動産ホテルマネジメント	
N 生活関連サービス業、娯楽業		
O 教育、学習支援業	ヒューマンアカデミー、三重県教育委員会、愛媛県教育委員会(2)、長崎県教育委員会、アワーズ、トライグループ	鳥取県教育委員会、鳥取県教育委員会
P 医療、福祉		鳥取市社会福祉協議会
Q 複合サービス事業	京都市農業協同組合	
R サービス業(他に分類されないもの)	大栄環境(2)、日本空調サービス、クリタス、DYMキャリア、パーソルプロセステクノロジー、アウトソーシングテクノロジー、マンパワーグループ、エコ・プラン、ヴェオリア・ジェネッツ、ピースウィンズ・ジャパン、伊予鉄総合企画、インテックスホールディングス、Evand、日本野鳥の会	Lifefix
S 公務	林野庁(3)、国土交通省近畿地方整備局、大阪府、大阪府警察、兵庫県警察、徳島県、茅野市(長野県)、桜井市(奈良県)、神戸市(兵庫)、松山市(愛媛県)、大村市(長崎県)、	鳥取県(2)、鳥取市

<進学> 東京農工大学大学院、信州大学大学院・ポロニャ大学大学院ダブルディグリー、九州大学大学院、公立鳥取環境大学大学院(5)

【経営学部】

	業 種	鳥取県外企業	鳥取県内関連企業
A	農業、林業		
D	建設業	東建コーポレーション、一条工務店、日成ビルド工業、東亜工業	
E	製造業	ヤマハ発動機、日立造船、プリマハム、ホシザキ、日本食研ホールディングス、モリタエコノス、久商、堂本食品、エヌイーシール、ボン・リブラン、進々堂、日本テクノロジーソリューション、源吉兆庵、日軽パネルシステム、田中衡機工業所、武蔵野	
F	電気・ガス・熱供給・水道業	日本BCP	
G	情報通信業	ソフトバンクエンジニアリング、日立産業制御ソリューションズ、リンク情報システム、アテック、国際コンピューター、キャル、システムプランニング、横浜アニメーションラボ	鳥取県情報センター、新日本海新聞社、アクセス、ケイズ、ソフィア
H	運輸業、郵便業	四国旅客鉄道、WILLER TRAINS、下津井電鉄	流通
I	卸売業、小売業	山善、ネクステージ(2)、ドン・キホーテ、コンドーテック、イボキン、南陽、コマツカスタマーサポート、福西電機、富士電機テクニカ、コーゲツ、ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、ベンハウス、ENEOSモビリティ、ホンダモビリティ中四国、高山、イノベーションオブメディカルサービス、赤尾、シュンビン、いーふらん、静岡制御、昭和企業、オオヤマ、谷村実業、荒井商事	スズキ自販鳥取(2)
J	金融業、保険業	山陰合同銀行、徳島大正銀行、伊予銀行、鳥根銀行、但馬信用金庫、しまね信用金庫、沖縄海邦銀行	山陰合同銀行(県内配属予定)、鳥取銀行(5)、三井住友信託銀行、鳥取信用金庫
K	不動産業、物品賃貸業	共立メンテナンス、サムティ、TKP、レイス、インデックス	開拓(2)
L	学術研究、専門・技術サービス	太陽、アドバHRソリューションズ、キョウエイアドインターナショナル	荒谷建設コンサルタント(鳥取支社)
M	宿泊業、飲食サービス業	直島文化村、信和ホテルズ、ユラク	
N	生活関連サービス業、娯楽業	ラウンドワンジャパン	
O	教育、学習支援業	名古屋工業大学	
P	医療、福祉	麻生、やすらぎの里	鳥取県保健事業団
Q	複合サービス事業	静岡市農業協同組合	全国農業協同組合連合会鳥取県本部(3)
R	サービス業(他に分類されないもの)	ワールドインテック、エイジス、ウィルオブ・コンストラクション、マーキュリー、ROXX、W-ENDLESS、ジンジブ、千代田ビル管財、アクティン	ラ・メゾン・ブランシュ、マーキュリー(鳥取配属)
S	公務	広島県、京丹後市(京都府)、大田市(鳥根県)、岡山県警察	鳥取県(2)、鳥取市(3)

<進学> 神戸大学大学院

【大学院】

修了予定6名(内定5名、進学1名)

	業 種	県外企業	県内(関連)企業
I	卸売業、小売業	オリンパスマーケティング	
L	学術研究、専門・技術サービス業	北海道開発技術センター	
R	サービス業(他に分類されないもの)	大栄環境、フロンティア・スピリット	
S	公務		伯耆町(鳥取県)

<進学> 金沢大学大学院

### 3. 県内就職状況

(単位:人)

1. 就職状況	令和6年度			令和5年度
	環境学部	経営学部	全体	
卒業者	142	133	275	263
うち鳥取県内出身者	20	39	59	41
うち鳥取市内出身者	7	16	23	20
① 就職希望者	122	126	248	231
② うち鳥取県内出身者	17	38	55	36
③ うち鳥取市内出身者	15	28	43	20
④ 就職者	121	124	245	228
⑤ うち鳥取県内企業	19	30	49	49
⑥ うち鳥取県内出身者	12	24	36	25
⑦ ⑤のうち鳥取市内企業	14	24	38	28
⑧ ⑥のうち鳥取市内出身者	6	16	22	11
就職率	99.2%	98.4%	98.8%	98.7%
全国国公立大学平均(%)	令和7年2月1日時点 93.0% ※ 4月1日時点の数値は5月下旬に発表			

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
就職希望者のうち県内出身者 ②/①	22.2%	17.3%	15.6%	15.7%
就職者に占める県内就職率 ⑤/④	20.0%	19.1%	21.5%	16.5%
県内出身者の県内企業等就職率 ⑥/②	65.5%	68.3%	69.4%	58.8%
市内出身者の市内企業等就職率 ⑧/③	51.2%	64.0%	55.0%	46.7%

#### (県内就職の定義)

- ・鳥取県内に本社が所在する企業に就職する。
- ・鳥取県外に本社が所在するが、鳥取県内の事業所に配属される。
- ・鳥取県内に一定規模の事業所・工場等が存在し、ふるさと鳥取定住機構や県等が主催する地元企業説明会に参加している本社を県外に置く企業への就職を一部含む。

#### 4. 鳥取県内就職先の詳細

◇東部地区:39名

就職先企業・団体名	出身地
株式会社アクシス	智頭町
株式会社荒谷建設コンサルタント	鳥取市
イオンリテール株式会社	鳥根県松江市
株式会社ウッズカンパニー	倉吉市
エクシードシステム株式会社	大分県佐伯市
有限会社開拓	鳥取市
株式会社山陰合同銀行	八頭町
株式会社新日本海新聞社	三朝町
株式会社スズキ自販鳥取(2)	境港市、宮崎県宮崎市
全国農業協同組合連合会 鳥取県本部	米子市
株式会社ソフィア	鳥取市
株式会社鳥取銀行(6)	鳥取市、八頭町、北栄町、日吉津村、鳥根県出雲市、岡山県勝田郡
鳥取県(4)	鳥取市(2)、米子市、湯梨浜町
鳥取県教育委員会	湯梨浜町
株式会社鳥取県情報センター(2)	鳥取市、日南町
公益財団法人鳥取県保健事業団	岩美町
鳥取市(4)	鳥取市(3)、兵庫県豊岡市
鳥取市社会福祉協議会	鳥取市
鳥取信用金庫(2)	鳥取市(2)
株式会社ニトリ口	大阪府枚方市
有限会社ひよこカンパニー(大江ノ郷自然牧場)	鳥取市
ブリヂストンタイヤソリューションジャパン株式会社	鳥取県米子市
三井住友信託銀行株式会社 鳥取支店	鳥取市
Lifefix合同会社	中国四川省
㈱・メゾンド・ブランシュ	鳥取市

◇中部地区:3名

就職先企業・団体名	出身地
シンワ技研コンサルタント株式会社	鳥取県米子市
全国農業協同組合連合会 鳥取県本部	兵庫県加西市
流通株式会社	中国山東省

◇西部地区:7名

就職先企業・団体名	出身地
有限会社開拓	米子市
株式会社ケイズ	兵庫県赤穂郡
全国農業協同組合連合会 鳥取県本部	米子市
鳥取県教育委員会	米子市
ホンダ山陰中央株式会社	兵庫県神戸市
株式会社マーキュリー	鳥取市
米子信用金庫	岐阜県各務原市



## 4 その他の近況

### I 研究関係

#### 研究・交流

##### 1. 公開講座等

###### (1) 地域・教養に関連した一般向け講座

開催日/会場		タイトル	講師
6/7(土)	西部	宇宙からの地球観測	環境学部 准教授 佐川 龍之
6月下旬	動画配信		
8/30(土)	西部	数学の「解き方」の歴史	人間形成教育センター 教授 吉田 聡
9月中旬	動画配信		
9/6(土)	中部	近年の外国人労働者の動向と外国人介護職員の就業	経営学部 准教授 佐藤 彩子
9月下旬	動画配信		
10/4(土)	東部	SDGs とは何であり、何ではないのか ～SDGs が取り残したのものたちから～	経営学部 准教授 高井 亨
10月中旬	動画配信		
11/1(土)	東部	学校づくりは地域づくり／地域づくりは学校づくり	環境学部 准教授 川口 有美子
11月中旬	動画配信		
11/29(土)	西部	野生動物の社会を知ろう ～ニホンザルの子育てに地域差はあるのだろうか？～	環境学部 講師 谷口 晴香
12月中旬	動画配信		
12/20(土)	東部	ヒットドラマ・映画から学ぶ消費者像 ～恋愛今昔物語～	経営学部 准教授 竹内 由佳
1月中旬	動画配信		

###### (2) リカレント教育関連講座

開催日/会場		タイトル	講師
6/12(木)	東部	住まいのユニバーサルデザイン	環境学部 准教授 老田 智美

<AI・データ分析をビジネスにどう活かすか？>

AI・数理・データサイエンス教育研究センターが、コース形式で実施。

開催日/会場		タイトル	講師
6/25(水)	本学	AI やデータ分析を業務改革に活かすデータドリブン経営	経営学部 教授/AI・数理・データサイエンス教育研究センター長 齊藤 哲
7月中旬	動画配信		
7/9(水)	本学	ビジネスで活用できる「生成AI」入門	人間形成教育センター 准教授 堀 磨伊也
7月下旬	動画配信		
7/23(水)	本学	データリテラシー	人間形成教育センター 准教授 久保 奨
8月下旬	動画配信		

(3) 小学生対象講座

開催日/会場	タイトル	講師
7/26(土) むらなか	チリメンモンスター 図鑑を作ろう!	環境学部 准教授 太田 太郎

(4) KANラジ

令和7年度は2回放送予定。

2. 各種研究助成等

○科学研究費助成事業 (19件 24,310千円 ※間接経費含む)

研究種目	研究課題	研究代表者	R7年度助成額 (千円)
学術変革領域 研究 (A)	【新規】サンゴ骨格の14C年代測定の高精度化による南極周極深層水変動の解明	環境学部 准教授 徳田 悠希	1,820
基盤研究(B)	【継続】南極深海サンゴによる産業革命以降の周極深層水変動の復元	環境学部 准教授 徳田 悠希	2,080
	【継続】メタン発酵嫌気性微生物へのマイクロ波非熱的作用の機構解明と循環照射システム	環境学部 准教授 戸苺 丈仁	3,120
基盤研究(C)	【新規】AIの局所解釈性の活用による行動変容を用いた持続可能なエネルギーマネジメント	人間形成教育センター 准教授 堀 磨伊也	2,210
	【新規】衛星画像を用いた藻場分布域自動抽出技術に関する研究開発	環境学部 准教授 佐川 龍之	2,730
	【新規】社会性の種内変異から探る行為主体性の進化：野生ニホンザルの地域間比較を通して	環境学部 講師 谷口 晴香	1,820
	【新規】揺らぐ自由貿易下における大手製造業の投資戦略とグローバル・サプライチェーンの強化	経営学部 准教授 連 宜萍	1,690
若手研究	【新規】リカバリー経験がワーク・エンゲイジメントに与える影響	経営学部 准教授 中島 智子	1,040
基盤研究(C)	【継続】バリ島の外庭テラジャカンの保全と活用：持続可能な観光産業の発展に向けた総合的分析	環境学部 准教授 加藤 禎久	1,820
	【継続】少子高齢化時代の農業ファミリービジネスと女性経営参画ー長期公的パネルデータ分析ー	経営学部 教授 西村 教子	1,300
	【継続】有機農業における生産知識のナレッジマネジメント構造の解明に関する研究	環境学部 准教授 山口 創	650
	【継続】地域人材育成に資する連携型中高一貫校の「探究的な学び」に関する研究	環境学部 准教授 川口 有美子	520

基盤研究(C)	【継続】 ゴム分解キノコの物性低下因子の特定とそれを用いたゴムの再資源化	環境学部 准教授 佐藤 伸	1,300
	【継続】 アイデア開発者が自らの創造性発揮を動機づける過程と要件	経営学部 教授 磯野 誠	1,170
	【継続】 植民地期インドの貨幣鑄造所の実態：貨幣統合政策の実効性の検証	経営学部 准教授 谷口 謙次	520
若手研究	【継続】 ソーシャル・イノベーション普及の要因分析ー消費者コミュニケーションの現場からー	経営学部 准教授 竹内 由佳	520
	【期間延長】 寛容な社会性をもつニホンザルの離乳期の育児：子どもの中で子を育てる	環境学部 講師 谷口 晴香	0
	【期間延長】 労働力不足解消に向けた外国人介護職員の就業：「地域的文脈」が定着に与える影響	経営学部 准教授 佐藤 彩子	0
挑戦的研究(萌芽)	【期間延長】 発達障害児等の環境刺激因子を除去したカムダウンルームデザイン手法の構築	環境学部 准教授 老田 智美	0

○その他の公募型研究助成 (3件 5,400千円)

研究課題	助成団体	研究代表者	受入額(千円)
【継続】 農山村地域の持続可能性：管理作業量と生態系サービスの定量評価と未来シナリオ分析	公益財団法人住友財団	環境学部 准教授 加藤 禎久	1,300
【継続】 嫌気性消化処理を活用した下水道処理場の大規模被災時エネルギー供給拠点化	公益信託下水道振興機構(受託者：みずほ信託銀行株式会社)	環境学部 准教授 戸蒔 丈仁	1,100
【継続】 加硫ゴムの再資源化を可能にする木材腐朽菌 <i>Trichaptum</i> 種由来の分泌成分の特定と機能解明	公益財団法人 発酵研究所	環境学部 准教授 佐藤 伸	3,000

3. 受託研究 (1件 6,162千円 ※研究総額・間接経費含む)

研究課題	委託者	教員名	受入額(千円)
【継続】 天然ゴムを用いるグローバル炭素循環プロセスの科学技術イノベーション(研究題目3：天然ゴムの生分解)	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST-SATREPS)	環境学部 准教授 佐藤 伸	6,162

4. 共同研究 (9件 2,784千円 ※研究総額・間接経費含む)

研究課題	共同研究者	教員名	受入額(千円)
【継続】 質量分析オープンイノベーション協働ユニット	大阪大学大学院理学研究科付属基盤理学プロジェクトセンター	環境学部 准教授 山本 敦史	0

【継続】 エリンギの機能性成分分析	(有)北村きのこ園	環境学部 准教授 山本 敦史	165
【継続】 ゴム分解キノコによる加硫ゴム分解・脱硫作用の解析	住友理工(株)	環境学部 准教授 佐藤 伸	1,000
【継続】 衛星画像を用いた浅海域の海底地形推定技術の高度化に関する共同研究	海上保安庁海洋情報部	環境学部 准教授 佐川 龍之	0
【継続】 天然ゴムを用いるグローバル炭素循環プロセスの科学技術イノベーション	長岡技術科学大学	環境学部 准教授 佐藤 伸	0
【新規】 ALOS-2/ALOS-4を用いた沿岸生物生息場のモニタリング技術に関する研究開発	JAXA	環境学部 准教授 佐川 龍之	0
【新規】 製品検査内製化のための分析法開発	林純薬工業(株)	環境学部 准教授 山本 敦史	550
【新規】 鳥取砂丘未来会議調査研究会における基礎的調査研究及び特別調査テーマに関する研究	鳥取砂丘未来会議	環境学部 准教授 重田 祥範	585
【新規】 非都市地域における小気候調査に関する研究	東京電力ホールディングス(株)	環境学部 准教授 重田 祥範	484

## 5. 地域連携・産学官連携

### (1) 地域連携活動推進助成制度

本学における学生の地域連携活動を推進するため、地域イベント等への参加、地域住民との交流、地域のスポーツ又は文化振興、地域情報の発信、地元産品の開発等の活動を行う団体等に対して資金的支援を行う。活動エリアは鳥取県及び兵庫県北部（麒麟のまち圏域）。

- ・助成額の上限額は、5万円/事業。同様の活動を継続して行う場合は上限額は20万円。
- ・令和7年度は5月現在において3件の事業を採択。

#### 《令和7年度採択事業》

申請団体（代表）	指導教職員	活動名称
学生コーディネーター ツアー部	環境学部 教授 荒田 鉄二	魅力発見！鳥取巡り
和太鼓部	環境学部 教授 根本 昌彦	和太鼓を用いた地域交流
ワカメボランティア25	環境学部 教授 根本 昌彦	ワカメフェス2025～集まれ世界の海藻たち～

※令和6年度は9件の事業を採択。

### (2) 企業・自治体との連携

企業や自治体等からの連携事業の相談に対し地域連携コーディネーター及びSDGsコーディネーターを中心に学内調整を行い事業展開を図る。

令和6年度は、2件の事業化に繋がった。

《令和6年度の実績》

連携先	事業概要	活動地域
鳥取県及び鳥取市並びに県外企業	授業（グリーンベンチャー）として実施	気高町
鳥取市及び市内団体	授業（グリーンベンチャー）として実施	佐治町

サステナビリティ研究所

1. SDGs カフェ

SDGs について気軽に語り合えるカフェ形式により、参加者が自由に意見交換する場。令和6年度は、以下2回（テーマ）を実施した。

※学生が主体となって企画・運営を行うミーティングイベント。

- (1) テーマ：“昆虫食ってなに？～日本の昆虫食の歴史にたる歴史を振り返って～
- (2) テーマ：世界を変える小さな一歩～フェアトレードで踏み出そう～

2. SDGs 共創プロジェクト（SDGs 連携事業）

本学、鳥取商工会議所（工業部会）、鳥取県の三者が連携し、学生が教員の指導のもと、SDGs 経営を行う県内企業の環境課題の解決に取り組む「共創プロジェクト」。

令和7年度は、以下の課題解決に取り組む。

事業者名	調査研究のテーマ	担当ゼミ	新規・継続の別
(株) 美染	カラー剤のアルミチューブ容器のリサイクル活動等の拡大	金ゼミ	新規
美保テクノス (株)	建設業における CO2 排出量算出モデルの構築	門木ゼミ	継続 (R6～)
大同端子製造 (株)	AI を活用した工場内の電力消費量の可視化	堀ゼミ	継続 (R6～)
菌興椎茸協同組合	生分解性素材による椎茸種菌の保護蓋の開発	金ゼミ	継続 (R3～)
		門木ゼミ	継続 (R3～)

3. SDGs 活動推進助成制度

本学における学生の地域連携活動を推進するため、地域イベント等への参加、地域住民との交流、地域のスポーツ又は文化振興、地域情報の発信、地元産品の開発等の活動を行う団体等に対して資金的支援を行う。活動エリアは鳥取県及び兵庫県北部（麒麟のまち圏域）。

- ・助成額の上限額は、1事業あたり5万円。同様の活動を継続して行う場合の年間上限額は20万円。
- ・令和7年度は5月現在において3件の事業を採択。

4. サステナビリティ研究所研究成果報告会、シンポジウム

研究成果報告会では、SDGs の目標達成に向けて、令和6年度にサステナビリティ研究所が主体となり実施したプロジェクト型研究の成果を報告する。あわせて、環境省の脱炭素先行地域選定に係る関係者等を招聘し、基調講演・パネルディスカッションを実施予定。

- (1) 日 時：令和7年11月から令和8年1月に開催予定
- (2) 開催形式：本学を会場とし対面式により実施予定

## 5. TUES Sustainability Week

学生が主体となり企画・運営を行う、脱炭素を起点とした地域及び大学の持続可能性や環境について参加者と一緒になり考える週間イベントを実施。

令和7年度は、「生物多様性」、「脱炭素」、「鳥取の未来」についてのトークイベントをはじめ、パネル展示等を実施予定。

また、12日（土）については、「TUES 未来をつくる大作戦！（仮称）」として、地域の小・中学生をはじめ、一般の方にも参加いただける「防災」、「食とエネルギー」等に関連したイベントを実施予定。

(1) 日 時：7月7日（月）から7月12日（土）に開催予定

(2) プログラム：平日：Sustainability Talks、パネル展示等

土曜日：イベント「TUES 未来をつくる大作戦！（仮称）」

### 地域イノベーション研究センター

#### 1. 地域連携型教育（副専攻「地域実践」）特別演習 A・B・C

科目	担当教員	訪問先企業・団体	内容
特別演習 A	柚洞 一央 准教授	中央大学、埼玉県等	中央大学連携共同フィールドワーク
	吉田 聡 教授	SC 鳥取	ガイナレーとの体験学習
特別演習 B	倉持 裕彌 准教授	鳥取市内 NPO 団体各所	NPO・ボランティア体験
	高井 亨 准教授	鳥取県内等	(仮) 街なかフィールドワーク
	山口 和宏 准教授	北海道地域農業研究所ほか	農業経営・都市農村交流
	下境 芳典 准教授	徳島県那珂町等	民俗学のフィールドワーク
	佐藤 彩子 准教授	米子市内介護施設等	介護問題と支援サービス
特別演習 C	張 漢賢 教授	鳥取市内バス会社	バス停留所悉皆調査
	吉永 郁夫 教授	林業試験場	山地災害リスクと森林管理
	太田 太郎 准教授	境港総合高校	実習船による海洋観測
	根本 昌彦 教授	鳥取県内木材加工場等	林業と木材利用
	甲田 紫乃 准教授	米子水鳥公園、米子自衛隊駐屯所ほか	持続可能な社会に向けた「人間と環境の関係性」— 現地調査及び哲学対話を通して—
特別演習 C	佐藤 伸 准教授 吉永 郁生 教授	鳥取市内、きのこセンター	キノコ・菌類研究とシイタケ栽培の現状
	山口 創 准教授	和歌山県紀の川市農協ほか	果樹産地におけるアグリビジネス、環境保全型農業の展開～紀の川市における現地演習と鳥取県農業の比較～

## 2. TUES地域連携フォーラム

地域住民及び「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム構成員」等と学生が地域の抱える課題を認識し、その解決に向けて意見交換等を行うフォーラムを実施予定。

- (1) 日 時：令和8年1月22日(木)【予定】  
 (2) 会 場：学生センター多目的ホール【予定】

## 3. 麒麟特別研究費助成

地域実践（麒麟）副専攻履修生の学術的かつ地域のニーズに応じた卒論研究を支援し、学生による地域研究の活性化を図ることを目的とした助成制度を設けている。

※令和6年度は応募者なし

## 4. 地域イノベーション研究センター研究所研究成果報告会

研究成果報告会では、令和6年度に地域イノベーション研究センターが主体となり実施したプロジェクト型研究の成果を報告する。研究に関連する基調講演やパネルディスカッションの実施を検討している。

- (1) 日 時：12月頃予定  
 (2) 開催形式：未定

## まちなかキャンパス

### 1. まちなかキャンパス概要

- (1) 場 所：鳥取市末広温泉町160 日交本通りビル3階301号室  
 (2) 開館時間：午後1時～5時（土日祝、年末年始、夏期一斉休業日除く）  
 (3) 利用目的：教育・研究・社会貢献活動のほか、会議、打合せ等、多目的に利用可。

### 2. 令和6年度の利用実績

#### (1) 利用者区分別内訳

区分	人数(人)
本学在学生	457
本学卒業生	2
本学教員	71
本学職員	56
他大学学生	8
他大学教職員	0
行政関係者	19
幼・小・中・高生	327
一般	11
マスコミ関係	8
組合・協議会等	9
企業	2
他学校教職員	8
計	978

#### (2) 利用目的別内訳

目的	人数(人)
授業	116
会議・打合せ	42
学生生活動	0
自習	86
研究	0
まちなか英語村	59
環大スタディ	372
里山生物園	84
見学	25
取材	23
イベント等	8
その他待合せ等	163
計	978

## 岩美むらなかキャンパス

### 1. 岩美むらなかキャンパス概要

- (1) 場 所：岩美郡岩美町大谷  
 (2) 利用目的：自然環境保全実習・地域文化調査、岩美町の町並み調査、地域活動拠点（ボランティア等）、地元小中高校生・地域住民との研究会・交流会 等々

- (3) 収容人数：セミナー等（最大30人程度）、宿泊（最大20人程度）
- (4) 施設概要：研究室、教材のメンテナンス及び保管室、トイレ・シャワー、食堂などの生活設備、作業場及び駐車場 等
- (5) 面積：本邸部分 235.13 m<sup>2</sup>（1階 164.98+2階 70.15）  
 食堂等部分（新築） 52.07 m<sup>2</sup>  
 蔵 46.24 m<sup>2</sup>（1階 23.12+2階 23.12）  
 作業場（倉庫） 85.25 m<sup>2</sup>  
 駐車場 17台収容

2. 令和6年度の利用実績

(1) 利用者区分別内訳

区分	人数(人)
教職員	102
学生	391
学外者	169
計	662

(2) 利用目的別内訳

目的	回数(回)	人数(人)	うち宿泊(回)
公開講座・講演会他	3	115	0
授業・ゼミ活動・サークル	42	429	16
地域住民利用	0	0	0
その他	44	118	0
計	89	662	16

国際交流センター

1. 令和7年度の国際交流実施計画・実績

【海外大学との学生交流・文化交流】

区分	国	交流大学	交流内容	時期	実績
派遣	韓国	清州大学	交換留学	前期	希望者なし
				後期	-
			短期学生文化交流	先方都合により今年度は中止	-
	ロシア	ウラジオストク国立経済サービス大学	短期研修	今年度の実施なし	-
	アメリカ	セントラルクリスチャンカレッジ・カンザス	短期研修	8~9月	2名予定
受入	韓国	清州大学	交換留学	前期	2名
				後期	-
			短期学生文化交流	先方都合により今年度は中止	-
	アメリカ	ミドルベリー大学	文化交流	先方都合により中止	-
セントラルクリスチャンカレッジ・カンザス		短期研修	5~6月	-	

【海外語学研修】

区分	国	留学先	内容	時期	実績
派遣	ドイツ	カッセル大学	語学研修 (英語)	8～9月	8名予定
	アメリカ	ポートランド大学		8～9月	-
	オーストラリア	サザンクロス大学		2～3月	-
	カナダ	トリニティ・ウェスタン大学		2～3月	-
	マレーシア	アジアパシフィック大学		2～3月	-
	韓国	延世大学韓国語学堂	語学研修 (韓国語)	8月	-
	中国	吉林大学	語学研修 (中国語)	8月	-

【その他の交流（他機関主催）】

区分	国	交流相手・事業名等	交流内容	時期	実績
派遣	中国	中国吉林省県費留学生事業（県）	留学生の相互受入	2月	-
受入	中国	中国吉林省県費留学生事業（県）	留学生の相互受入	通年	1名
	ロシア	ウラジオストク国立経済サービス大学（観光専攻）	学生交流	今年度の実施予定なし	-

【その他の交流（多文化共生推進）】

区分	交流相手・事業名等	交流内容	時期	実績
交流	湯梨浜町・グラウンド・ゴルフ国際交流大会	スポーツ交流 (地域住民・学生)	11月	-
	鳥取市ベタンク協会・ 鳥取市ボワ・ティペタンク交流大会	スポーツ交流 (地域住民・学生)	5月 or 11月	-
	異文化学習交流会	多文化共生理解 につながる活動、交流	年2回程度	-

## 2. 出張英語村・まちなか英語村

### (1) 出張英語村

今年度は対象を高校生とし、対面で実施する（希望校にはオンラインで実施）。鳥取県全地域の高等学校に出張英語村の案内をし、希望があった高校（最大10校）に対して実施する（令和6年度の申込は8校）。

### (2) まちなか英語村

今年度は中学生から高校生を対象とし、まちなかキャンパスにおいて対面で実施する。

## 3. 外国人留学生へのサポート

### (1) 留学生サポーター登録制度

日本人学生と留学生がパートナーとなり、語学の相互学習、趣味や興味の共有、文化交流を通じて、留学生の日本語学習や学校生活をサポートする。

・留学生サポーター登録者45名（5月9日時点）

## II 広報関係 (R7.4末現在)

### 大学広報関係

- 1 マスコミへの資料提供  
情報提供件数 1件
- 2 ホームページでの情報発信  
お知らせ 2件  
TUESレポート 3件
- 3 SNSを活用した情報発信  
X 32回  
LINE 1回

### 入試広報関係

- 1 進学相談会  
4月： 参加 2件（現地2件）、資料参加 12件
- 2 高校内ガイダンス  
4月： 8件（現地4件、オンライン4件）
- 3 学長による高校訪問（校長交代校への訪問）  
※県中部の校長交代校3校へ4月に訪問  
東部・西部の校長交代校（東部：2校 西部：4校）は5月訪問予定
- 4 出前授業（県教委との高大連携事業含む）  
4月 1件（八頭）

### Ⅲ 学務関係

#### 1 入学式

- (1) 実施日 4月3日(木) 午後1時～
- (2) 場所 とりぎん文化会館梨花ホール
- (3) 入学者 計336名(環境学部163名、経営学部165名、大学院8名)

#### 2 フレッシュャーズセミナー(新入生を対象)、ガイダンス

- (1) 実施日 4月4日(金)、5日(土)、7日(月)
- (2) 主な実施内容
  - ・1年生 履修指導
  - ・1,4年生 健康診断
  - ・全学年 学部ガイダンス、進路・資格ガイダンス、環境管理活動・地域連携活動

#### 3 授業

- ・4月8日(火) 授業開始

#### 4 副専攻制度

R6年度修了者 計19名(環境学1名、経営学7名、AI・数理・データサイエンス4名、英語実践0名、地域実践(麒麟)7名)

#### 5 学修サポート体制の充実

今年度はサポーター11名を委嘱し、学修支援、学生生活へのアドバイスを実施。

## 6 就職関連

### (1) 就職ガイダンス

実施	タイトル	学年	対象	内 容	R7	R6	R5
4/5	進路ガイダンス	1	全員	TUESキャリアナビ登録	323	273	315
4/4	進路ガイダンス	2	全員	大学生活と就職活動を知る、自己理解を促進する	166	86	116
4/4	進路ガイダンス	3・院1	全員	就活スケジュールを確認する、就職サイト登録会	89	80	81
4/7	進路ガイダンス	4	全員	選考のポイントと採用スケジュールを確認する	20	15	15
4/16	自己分析と自己PR	3・院1	全員	自己分析のワークから自己PRを考える	100	53	104
4/23	公務員業務説明会	全学年	希望者	県、市、県警の採用担当者が業務説明、質疑応答	71	74	106
5/7	インターンシップ基礎	3・院1	全員	ISの基礎知識、実際に1社以上エントリーしてみる	91	87	169
5/21	インターンシップ応用	3・院1	全員	ワークを通じて実践的にインターンシップを体験してみる		85	110
6/4	SPI模擬受検会	3・院1	全員	客観的に自己を知るSPI性格検査 エントリーシート作成前に強み弱みを言語化する		72	83
6/18	志望動機	3・院1	全員	実際の企業の志望動機を書いてみる		36	64
7/2	インターンシップ直前講座	3・院1	全員	IS申込、目標設定		—	—
7/16	前半まとめ講座	3・院1	全員	振り返り、就職活動計画		—	—
9/下旬	進路ガイダンス	3・院1	全員	選考のポイント、採用スケジュール		60	37
9/下旬	進路ガイダンス	2	全員	インターンシップ準備		161	65
9/下旬	進路ガイダンス	1	全員	大学生活の過ごし方、キャリアタスUC登録会		251	195
10/15	履歴書/エントリーシート	3・院1	全員	履歴書/エントリーを完成させる		55	19
11/5	適性診断テスト	3	全員	職種への適性を知る		157	173
11/19	プレ合同業界セミナー	3・院1	全員	合説に参加する企業の紹介、合説のまわり方		14	29
12/13	学内合同業界セミナー	3・院1	全員	鳥取県内外の優良企業40社の紹介フェア		140	121
12/17	学内合同企業研究セミナー 振り返り、今後の計画	3・院1	全員	企業の説明を受けて 選考スケジュール		—	—
1/7	面接対策	3・院1	全員	面接での重要ポイント		—	13
1/14	自己RPとガクチカ	3・院1	全員	就活準備総まとめ講座		40	33

### (2) 面談関係

実施	タイトル	学年	対象	内 容	R7	R6	R5
6-9月	前期 個人面談	3 院1	全員	職務適性テスト結果を返却し、適性と希望進路の確認		253	151
10-12月	後期 個人面談		全員	企業のエントリー、合同企業説明会の参加方法を確認		143	86

### (3) 公務員試験対策講座・資格取得講座

実施	タイトル	学年	対象	内 容	R7	R6	R5
通年	公務員試験対策講座	全員	希望者	行政職(教養+専門)コース、行政職(教養+SPI)コース、 技術系(教養+専門)コース、警察官コース、消防官コース		32	42
通年	簿記講座	全員	希望者	簿記1~3級		10	17
通年	FP講座	全員	希望者	FP技能検定2~3級		2	6
通年	SPI対策講座	全員	希望者	R4年度新規事業		1	0

## IV その他のトピックス

### ① 2025 年度公立鳥取環境大学 学部・大学院入学式

4月3日（木）、とりぎん文化会館梨花ホールで、2025 年度学部・大学院入学式を挙りました。学部生 331 名（環境 164 名、経営 167 名）、大学院生 8 名が入学しました。



### ② 学内で公務員説明会を開催

公務員を志望する学生を対象に、4月23日（水）に学内で公務員説明会を開催しました。鳥取県、鳥取市、鳥取県警の採用担当の方から、業務内容や採用方法、キャリアプラン等について説明を受け、約80名の学生が熱心に耳を傾けていました。2025年3月卒業生は、農林水産省、国土交通省、大阪府、広島県、鳥取県等の職員や市町村職員等、30名が公務員・教員に採用されています。



### ③ 「鳥取城跡大手門「中ノ御門」完成 開門式」において和太鼓部が演奏を披露

4月26日（土）に開催された鳥取城跡の大手門「中ノ御門」の開門式において、本学サークルの和太鼓部が式典及びイベントで演奏を披露しました。



#### ④ 鳥取こどもまつりに本学のサークル・団体が参加

4月27日（日）、鳥取市文化センターで開催された「鳥取こどもまつり」に、本学の5つのサークル・団体が参加し、それぞれ特色ある体験型プログラムを実施しました。



#### ⑤ SDGs 共創プロジェクトスタート、金ゼミがアルミチューブのリサイクルについて企業と意見交換

令和6年度からスタートしているSDGs共創プロジェクトの一環で、(株)美染と本学の金教授のゼミが協力し、アルミチューブ容器のリサイクル活動拡大に向けた調査研究を開始しました。

(株)美染は白髪染めに特化したサロンを県内4カ所に展開しており、日々大量に発生するカラー剤入りアルミチューブ容器の廃棄物を独自にリサイクルしていますが、この活動をさらに広げるための方策を共同で研究していく予定です。

